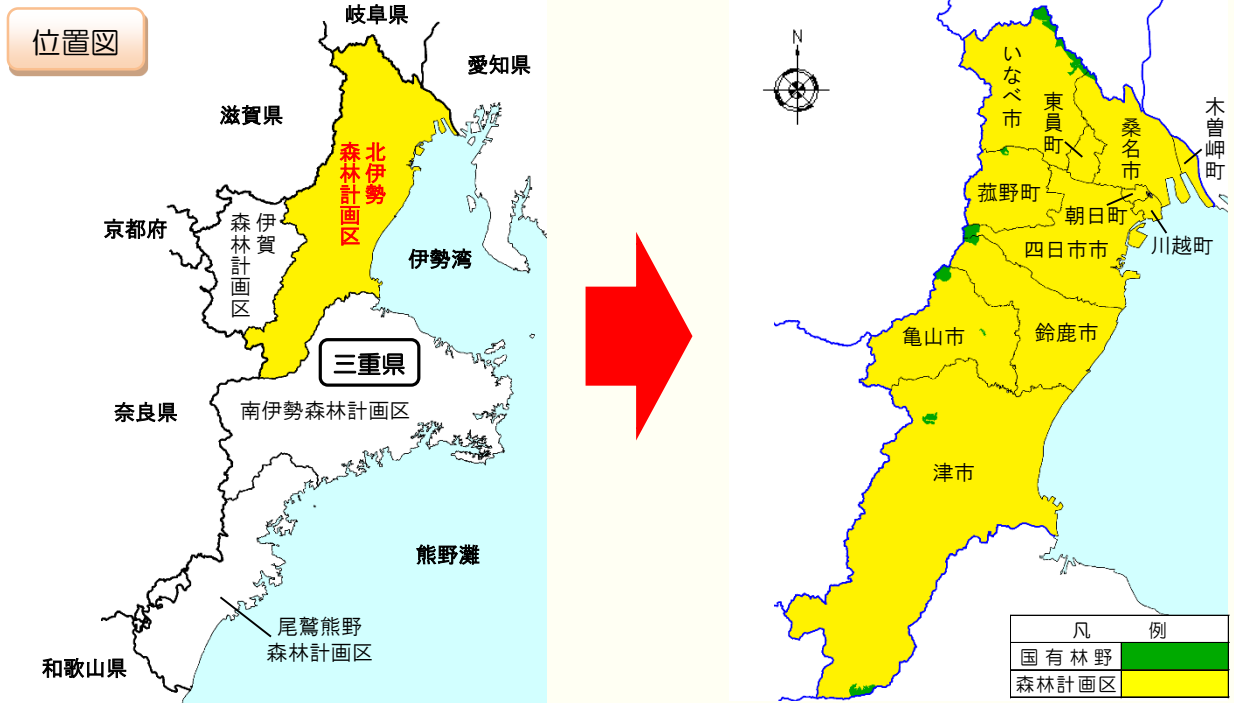


地域管理経営計画の概要

北伊勢森林計画区

1 森林計画区の概況

国有林野面積は2,555haであり、岐阜県境付近に1千haを超える団地があるほか、数十ha～数百haの団地が滋賀県境などに点在しています。



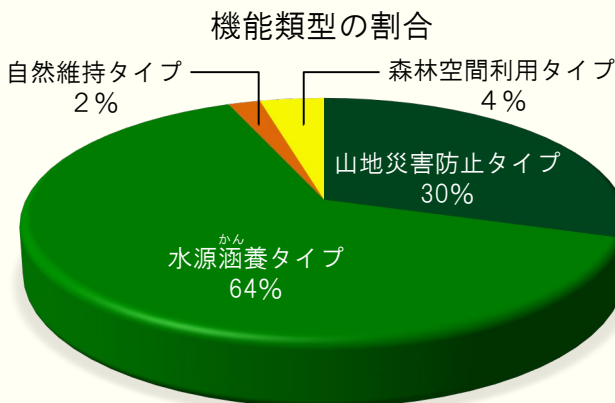
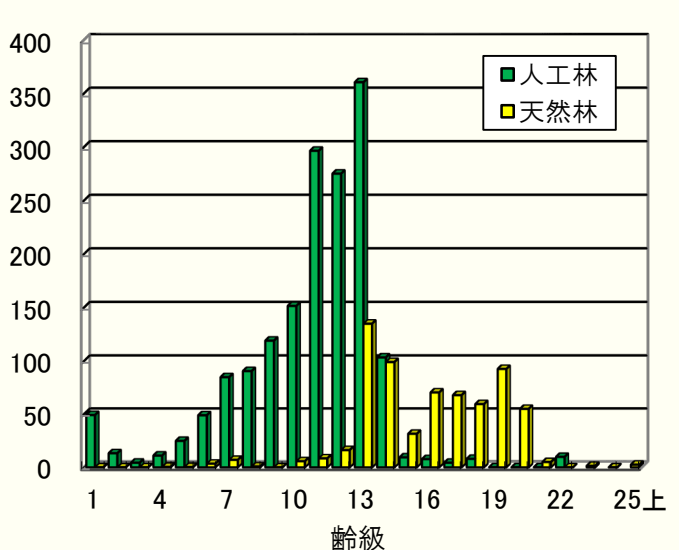
森林計画区内の森林面積に占める国有林野の割合は3%です。これらのうち61%は水源かん養保安林となっており、重要な水源涵養機能の一端を担っている一方、31%は土砂流出防備保安林であり、山地災害防止機能を重視した管理を行っています。

また、国有林野面積の人工林率は71%と森林資源に恵まれており、岐阜県境で立地のよい悟入谷、古野裏山国有林では「森林共同施業団地」を設定し、民有林と連携して森林整備や木材生産に取り組んでいます。

森林計画区内における森林面積の割合



面積(ha) 齢級別面積



注1 各データは令和2年現在。
注2 四捨五入等により内訳と合計が合わない場合がある。
注3 齢級とは、5年をひとつくりにし、林齢1～5年生を1齢級、6～10年生を2齢級、以下、3齢級、4齢級と続く。

2 国有林野の管理経営に関する基本的な事項

(1) 主要事業量

森林の有する多面的機能を持続的に発揮させるため、302ha（3.6万 m^3 ）の間伐を実施し、間伐材の有効利用に努めます。

また、105ha（3.3万 m^3 ）の主伐を実施します。

事業区分		新計画	現計画
伐採総量	主伐	105ha（33,125 m^3 ）	83ha（18,630 m^3 ）
	間伐	302ha（35,585 m^3 ）	521ha（53,184 m^3 ）
更新総量	人工造林	106.76ha	100.77ha
	天然更新	0.58ha	—
保育総量	下刈	328.91ha	279.18ha
	除伐	21.65ha	5.94ha
林道事業	開設	1,500m	2,300m
	改良	200m	3,750m
治山事業	保全施設	7箇所	4箇所
	保安林の整備	34.33ha	91.57ha

注1 主伐とは、利用期に達した樹木を伐採し収穫すること。間伐と異なり伐採した後に更新を行う。

注2 間伐とは、育てようとする樹木どうしの競争を軽減するため、混み具合に応じて一部の樹木を伐採すること。

注3 更新とは、伐採等により樹木がなくなった箇所において、植林を行うことや自然力の活用等により森林の世代が替わること。

注4 除伐とは、育てようとする樹木の生長を妨げる他の樹木を刈り払う作業。通常、育てようとする樹木の枝葉が互いに接する状態になるまでの間に行う。

(2) 民有林と連携した施業の推進

民有林と国有林が隣接している区域において「森林共同施業団地」を設定し、民有林の所有者と連携して、路網整備、土場の共同利用や民有林材との協調出荷等に取り組みます。

名称	対象地		連携して行う取組み
悟入谷・古野裏山地域森林共同施業団地	民有林	534ha	いなべ市 岐阜県海津市 間伐等の森林整備、 路網整備、土場の共同利用、 木材の協調出荷
	国有林	1,125ha	

【国有林林道と民有林森林作業道の連結】



【国有林内の土場を民有林と共同で利用】



(3) 林道等の路網整備

林産物の搬出、森林の育成、適切な保安全管理等を効率的に行うため、自然・社会的条件を考慮しつつ、林道等の路網を計画的に整備します。

本計画区では、「森林共同施業団地」における施業の共同化・効率化をより加速させるため、国有林内の林道と民有林内の作業道とをつなぐ連絡路を、民有林と連携して新たに開設します。

【開設した林業専用道】



【間伐材を利用した木柵工 (林道の法尻に施工)】

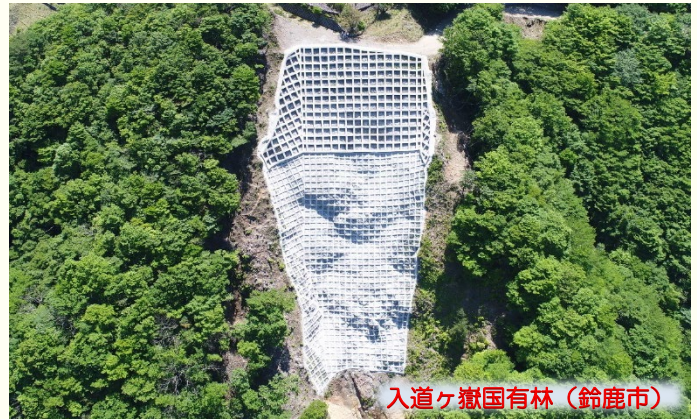


(4) 治山事業

山地災害の復旧や防止を図るため、民有林治山事業と連携し、治山事業の計画的な実施に努めます。

本計画区では、急峻な鈴鹿山脈に位置する入道ヶ嶽国有林等の荒廃地において、治山施設の設置等を計画します。

【崩壊した山腹で実施した治山工事】



3 国有林野の維持及び保存に関する事項

ニホンジカ等の被害対策

本計画区では、ニホンジカの生息密度が高く、植栽木や下草への食害が発生していることから、防護柵や幼齢木保護管の設置等の被害対策を行うとともに、自治体等と連携して、わな捕獲等を行います。

【植栽箇所に設置した防護柵】



【箱わなで捕獲したニホンジカ】

